

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年6月11日

計画の名称	10 市民の暮らしを支え、地域の活性化と交流連携を促進するみちづくり				重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度 ~ 平成29年度 (4年間)	交付対象	新居浜市		
計画の目標					

医療・福祉・通勤等の暮らしの維持、地場産業・観光の振興や物流の効率化、人や文化の交流拡大などに資する道路の整備を進め、地域の活力創出を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・改築事業における計画道路の整備率向上
- ・歩道整備による歩行者の安全確保

定量的指標の定義及び算定式

改築事業における計画道路の整備率=改良済延長 (m) / 計画全体延長 (m)

歩道の整備率=整備済延長 (m) / 計画整備延長 (m)

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)
14%	—	52%
38%	—	100%

備考

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,321百万円	A	1,285百万円	B	—	C	36百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	2.7%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	---	---	-------	---	---	-----------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
新居浜市において評価を実施	平成30年5月
	公表の方法
	新居浜市のホームページにて公表を行う

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	角野船木線 角野新田町	バイパス 1=0.9km	新居浜市						882	—		
1-A-2	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	種子川筋線 角野新田町	バイパス 1=0.3km	新居浜市						103	—		
1-A-3	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	河又東平線	現道拡幅 1=0.6km	新居浜市						35	—		
1-A-5	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	平形外山線	現道拡幅 1=0.1km	新居浜市						0	—		
1-A-7	街路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	S街路	改築	(都) 上部東西線外1線	バイパス 1=0.9km	新居浜市						246	—		
1-A-8	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	交安	新須賀山根線	歩道整備 1=0.1km	新居浜市						19	—		
合計																1,285		—	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H26	H27	H28	H29	H30				
合計																		

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
1-C-1	施設整備	一般	新居浜市	直接	新居浜市	情報板整備	公共施設等の案内看板整備	看板設置 N=2基	新居浜市						3		
1-C-2	施設整備	一般	新居浜市	直接	新居浜市	排水管整備	船木高祖地区排水管	排水管 1=0.4km	新居浜市						33		
合計																36	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	道路事業(1-A-1,2)と一体的に公共施設や観光施設の案内看板を設置し、地域の活性化と交流連携を図る。	
1-C-2	基幹事業(A6-2)の施設整備と一体的に実施することにより、市全体の地域防災力向上を図る	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況															
I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭隘な既設道路で見通しも悪く、安全性や利便性を必要とされていた計画道路については、バイパス道路としての整備や現道拡幅による整備率向上に取り組み、新居浜市南部の交通ネットワークの基盤となる路線や観光施設へのアクセス道路として整備され、市民の暮らしの維持向上、観光振興等地域の活力創出が図られた。 ・ 歩道もなく歩行者の安全確保が図られていない道路については、歩道整備により歩行者の安全安心な通行空間の確保が図られた。 											
II 定量的指標の達成状況		指標①(改築事業における計画道路の整備率)		最終目標値	52%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり整備が着実に進み、目標値を達成することが出来た。								
				最終実績値	98%										
		指標②(歩道の整備率)		最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因									
				最終実績値	100%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)				<ul style="list-style-type: none"> ・ 「角野船木線 角野新田町」及び「種子川筋線 角野新田町」の整備により、慢性的な渋滞路線である国道11号経由による道の駅「マイントピア別子」をはじめとする観光施設へのアクセスにおいて、所要時間が約10分短縮され、道の駅「マイントピア別子」をはじめとする観光施設へのアクセス向上が図られた。 ・ 「河又東平線」の整備により、狭隘な区間において現道が拡幅され、観光施設「マイントピア別子東平」へのアクセス道路として小型バス同士が離合可能箇所が増加し、観光シーズンの渋滞解消を図られ、観光施設への入込客数(H25年度：47千人→H29年度：51千人)の増加が図られた。 ・ 「新須賀山根線」の整備により、自転車歩行者道整備として、自転車歩行者道ネットワークが形成され、通勤、通学の安全性が向上することが図られた。 											
3. 特記事項(今後の方針等)															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期計画の「市民の暮らしを支え、地域の活性化と交流連携を促進するみちづくり」(平成21年度～平成25年度)に引き続き整備を行った結果、計画道路の整備が完了し、市民の暮らしを支え、地域の活性化と交流連携を促進するみちづくりを図ることができたが、立ち後れている新居浜市の交通ネットワークの形成を図るため、他の計画路線についても事業推進を検討していく。 															

(参考図面)

計画の名称	市民の暮らしを支え、地域の活性化と交流連携を促進するみちづくり		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成29年度 (4年間)	交付対象	新居浜市

